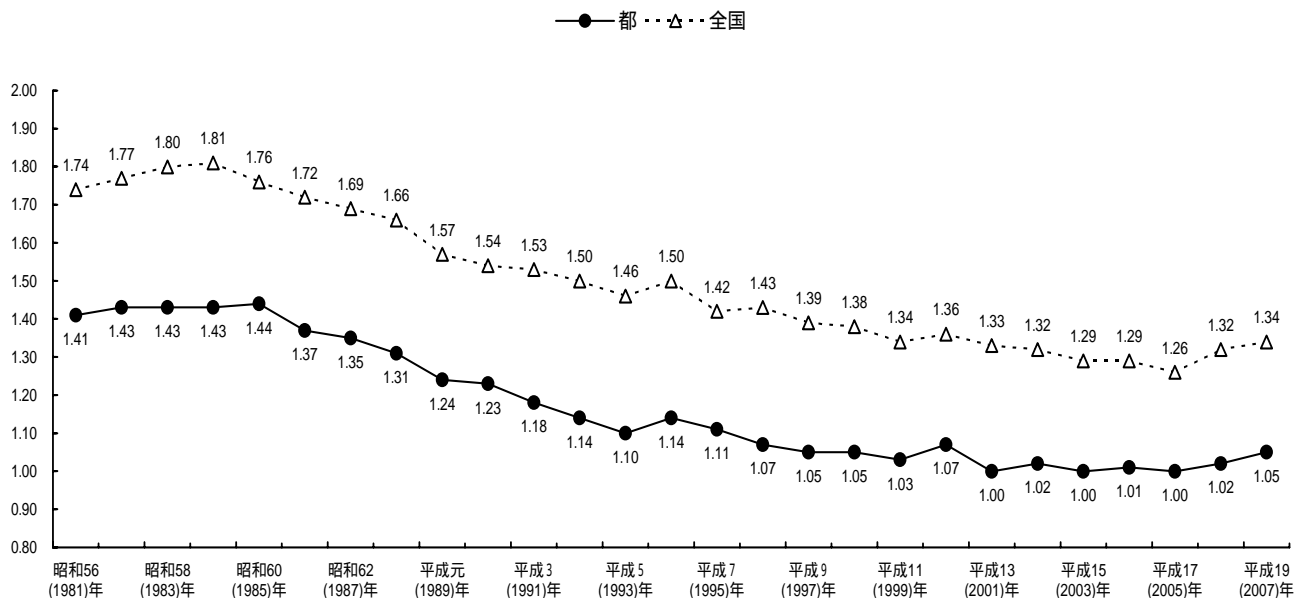


- 8 . 子育てに対する支援

1 . 合計特殊出生率

平成 19(2007)年の都の合計特殊出生率は 1.05 で、平成 18 (2006) 年の 1.02 から微増となっている。しかし、全国値の 1.34 よりも依然低くなっている。

図表 - 8 - 1 合計特殊出生率の推移(都・全国)



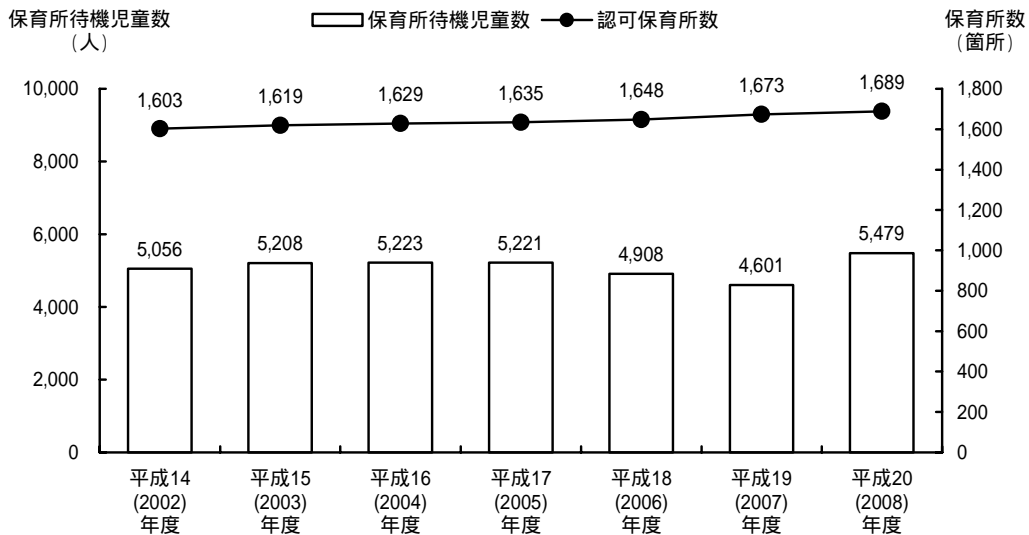
注：合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子供の数を表す。

資料：東京都福祉保健局「人口動態統計年報」（平成19年）、厚生労働省「平成19年人口動態調査」

2. 保育所数と待機児童数の推移・認証保育所の状況

平成 20 (2008) 年 4 月現在、認可保育所数は 1,689 箇所、認証保育所数は 410 箇所であり、年々増加している。一方、待機児童数は平成 20 (2008) 年度は 19 (2007) 年度に比べ増加した。

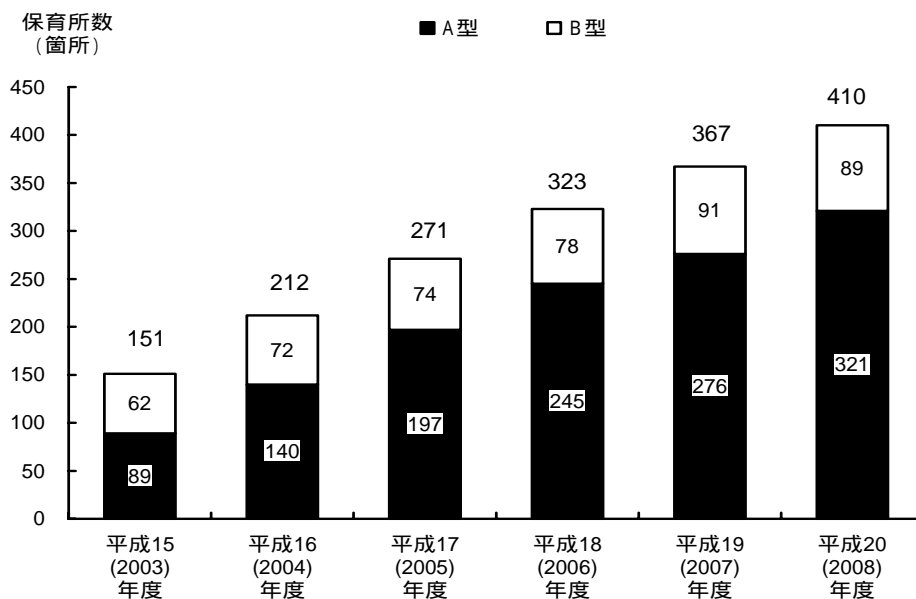
図表 - 8 - 2 保育所(認可保育所)数と保育所待機児童数の推移(都)



注：各年 4 月現在

資料：東京都福祉保健局調べ

図表 - 8 - 3 認証保育所の状況の推移(都)



注 1：各年 4 月現在

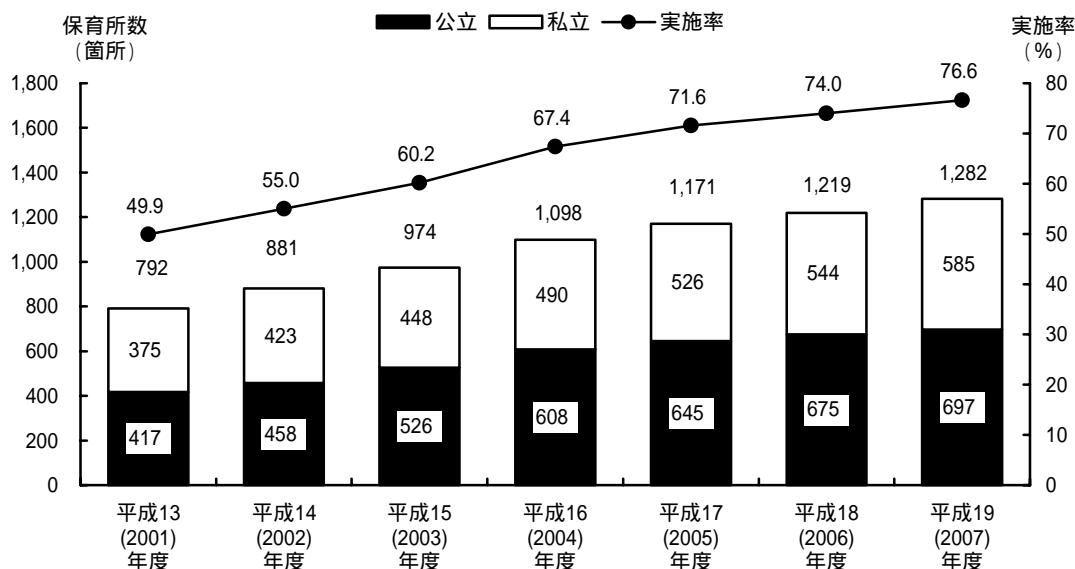
注 2：認証保育所は増大する保育ニーズに応え、東京都が独自の基準により認証するもので、主に駅前に設置される A 型と、小規模で家庭的な保育を行う B 型がある。

資料：東京都福祉保健局調べ

3. 延長保育の状況・保育サービスの整備状況

延長保育の実施率は年々上昇する傾向にあり、平成19(2007)年度は公立と私立合わせて1,282箇所で実施しており、実施率は76.6%となっている。ファミリー・サポート・センター数は平成19(2007)年度も47箇所と前年と変わらないが、会員数は増加しており、平成19(2007)年度の会員数は合計で61,069人となっている。

図表 - 8 - 4 延長保育の実施状況の推移(都)

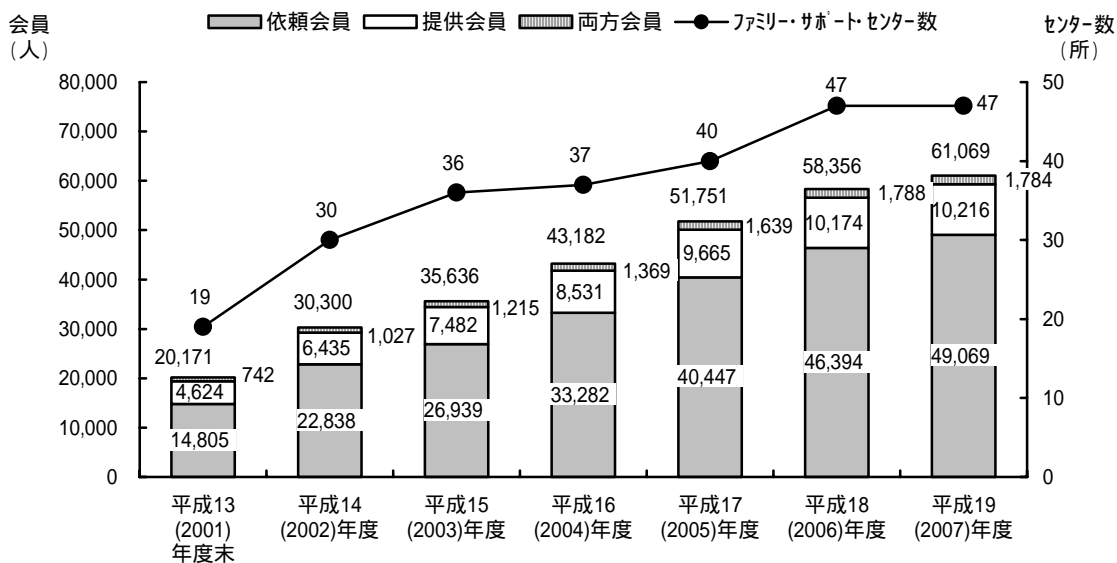


注1: 各年度4月1日現在

注2: 平成17(2005)年度は「次世代育成支援対策交付金制度」に基づく延長保育の実施施設数

資料: 東京都福祉保健局調べ

図表 - 8 - 5 ファミリー・サポートセンター数と会員数の推移(都)



注1: 各年度3月31日現在

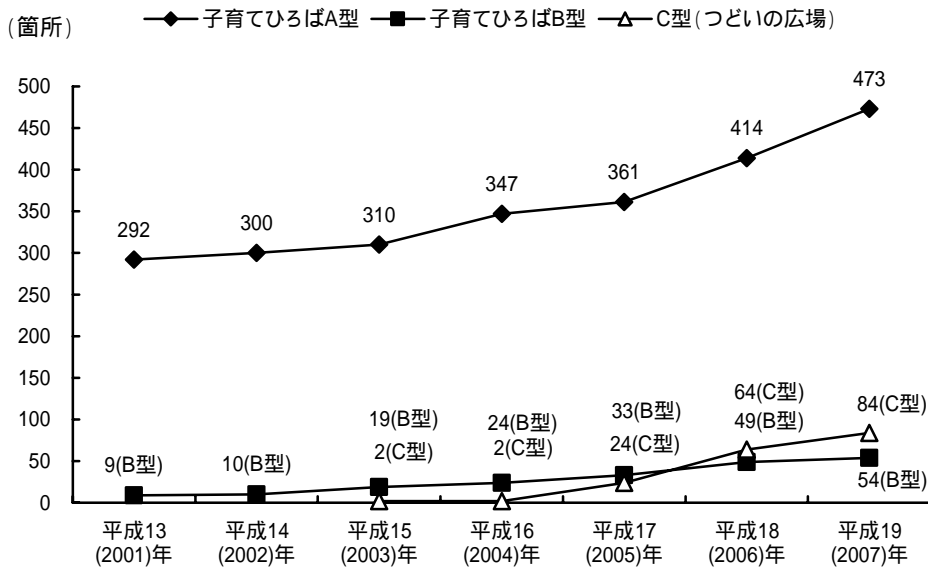
注2: 会員数は依頼会員、提供会員、両方会員の合計

注3: ファミリー・サポート・センターは、育児の手助けをしたい人(提供会員)と手助けを受けたい人(依頼会員)が、地域において相互援助活動を行う人を支援する会員組織

資料: 東京都福祉保健局調べ

子育てひろば数はA・B・C型とも年々増加しており、「子育てひろばA型」は平成19(2007)年には473箇所となっている。学童クラブ数、定員数、登録児童数はいずれも増加傾向にある。平成19(2007)年度末は学童クラブが1,445箇所あり、定員83,125人に対し登録児童数が81,976人となっている。

図表 - 8 - 6 子育てひろば数の推移(都)

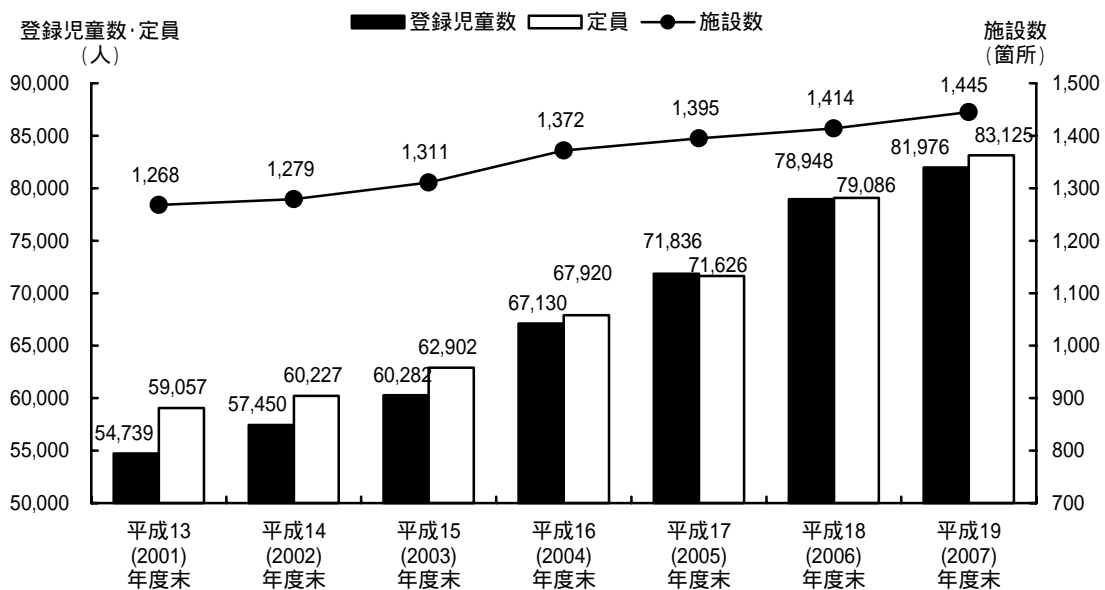


注：子育てひろばとは身近な地域の子育て家庭の支援を行うため、0歳から3歳までの孤立しがちな子育て家庭を中心に集いの場を提供しながら、子育て相談や子育てサークルの支援等を行う。

- ・子育てひろばA型：保育所、児童館等の機能・スペースを活用して相談や講座を行う。
- ・子育てひろばB型：保育所等に専用スペースを確保して実施する。
- ・C型(つどいの広場)：空き店舗、学校の余裕教室や公共施設内のスペースを確保して、常時親子に集いの場所を提供する。

資料：東京都福祉保健局調べ

図表 - 8 - 7 学童クラブ・定員・登録児童数の推移(都)



注：学童クラブは、保護者が労働者等により、昼間家庭にいない小学生を授業終了後に預かる事業

資料：東京都福祉保健局調べ